

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名		
一般		02	01	08	124330	国際都市推進事業		
総合計画	分野	人づくり						
	政策	3-3	生涯学習の推進					
	施策	3	国際都市の推進					
目的		花巻市の国際都市化を推進する。						
対象		海外の人々、市民						
意図		海外の人々と市民の相互理解促進を図り、花巻市への来訪、定住を図る。						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
○国際都市の推進 4,106千円 ○公益財団法人花巻国際交流協会補助 2,735千円 公益財団法人花巻国際交流協会が行う国際理解推進事業等への補助 ・国際理解推進事業（多文化サロン、市民語学講座） ・定住外国人支援事業（コミュニケーション支援、生活支援） ・国際交流情報提供事業、国際交流団体活動支援事業 ・国際フェアINはなまき 等 ○国際交流センター運営 10,096千円 ○団体への負担金 90千円 岩手県日嶺協会会費 JICAボランティアを支援するいわての会								
市民参画の有無 【 対象外 】								
市民協働の形態		○ 共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛		○ 補助・助成		○ 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
① 情報発信回数		回		計画	50	50		
				実績	55	51		
② 小・中学校等での会話指導		回		計画	10	10		
				実績	8	24		
③ 公共施設等の多言語表示等		回		計画	5	5		
				実績	5	1		
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
① 交流会・講座等参加者数		人		目標	1,400	1,400		
				実績	1,515	2,011		
② 外国人観光客入込客数（市内）		人		目標	22,000	37,000		
				実績	23,012	45,956		
③				目標				
				実績				
成果指標の達成度	○	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）		
・多文化サロン、市民語学講座は、前年度並みの参加者数となり、今年度から開講した日本語学習支援ボランティア入門講座や国際フェアによる参加者が増加したことから、今後も参加者増に向け、早期のイベント内容の情報発信を行っていく。 ・外国人入込客数については、主に台湾、香港、韓国からの客数が増加となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市として、海外へ情報発信することや、国際交流団体への支援は、国際都市化を推進するうえで妥当な事業である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・国際交流協会が実施している各種講座等は、講座内容の見直しや工夫の余地がある。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・国際都市推進員は、非常勤職員として雇用しており削減の余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・国際都市推進員の活用により海外への情報発信が推進され、花巻市への来訪者の増加が期待できることから、市民の受益と負担は公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
・国際都市推進員により、外国人の目線で見た「花巻」を情報発信しており、外国人に受け入れられやすい情報を発信することができた。 ・海外の情報をいち早く取り入れ、また、花巻の情報を的確に発信していくために国際都市推進員の活用は欠かすことができない。 ・市民は、海外の文化や言語についての知識を国際都市推進員によって得られ、国際理解を深めることができた。 ・国際理解講座などの公益財団法人花巻国際交流協会事業を支援することにより、市の国際都市化を推進することができた。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	08	124330	国際都市推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		15,455	17,024		1,569
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他	99	71		△ 28
	一般財源	15,356	16,953		1,597

※特定財源の内訳	

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標				
生涯学習の推進に努めます。				
事業開始の背景・経緯				
外国人の定住促進、交流人口の増加を図るため、様々な環境整備と海外への情報発信を行い、花巻市の国際化を推進しようとするもの。				
事業概要				
○国際都市の推進 4,106千円				
○公益財団法人花巻国際交流協会補助 2,735千円				
公益財団法人花巻国際交流協会が行う国際理解推進事業等への補助				
・国際理解推進事業（多文化サロン、市民語学講座）				
・定住外国人支援事業（コミュニケーション支援、生活支援）				
・国際交流情報提供事業、国際交流団体活動支援事業				
・国際フェアINはなまき 等				
○国際交流センター運営 10,096千円				
○団体への負担金 90千円				
岩手県日唄協会会費				
JICAボランティアを支援するいわての会				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				

担当部署 部名 生涯学習部 課名 国際交流室 担当係長 牛崎 充人 内線 407
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】	
1 国際都市推進員の活用等 4,103千円	(1)報酬 2,780 国際都市推進員1名 (2)共済費 389 同上 (3)報償費 45 海外への来客への土産 (4)旅費 30 第2回多文化共生事業ローカライズ研修会（東京） (5)需用費 67 消耗品費、食糧費 (6)役務費 792 筆耕翻訳料（Facebook掲載記事の翻訳 中・韓）
2 国際交流センター運営委託 10,096千円	委託先：公益財団法人花巻国際交流協会 場 所：花巻市交流会館 人件費4人分 9,347千円、事務費 749千円（車両借上、通信運搬費等）
3 花巻国際交流協会事業補助金2,735千円	(1)国際理解推進事業 227 多文化サロン、市民語学講座など (2)定住外国人支援事業 200 日本語講座、日本文化体験講座、生活講座など (3)国際交流情報提供事業 458 情報誌発送、姉妹都市等との通信など (4)国際交流団体活動支援事業 629 団体育成費（50×5団体）姉妹都市交流事業（100×4件） (5)国際フェアINはなまき 993 12月上旬開催 コンサート、団体活動展示、世界の料理コーナーなど (6)管理事務費 415 2,922 ーその他収入135（講座受講料21,賛助会員会費113,利子1）ー対象外経費52（営業許可8、租税公課44） 2,735千円
4 国際交流団体等への負担金 90千円	岩手県日唄協会会費 80千円 JICAボランティアを支援するいわての会負担金 10千円

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名		
一般		02	01	08	124340	国際姉妹都市等交流推進事業【総括表】		
総合計画	分野	人づくり						
	政策	3-3	生涯学習の推進					
	施策	3	国際都市の推進					
目的		国際交流人口の拡大						
対象		花巻市民（中学2年生）、国際姉妹都市等の中高校生・市民・教員						
意図		国際姉妹友好都市等への派遣及び受入事業を通じて、異文化を学ぶとともに国際感覚の醸成を図る。						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
○公益財団法人花巻国際交流協会補助 6,262千円 公益財団法人花巻国際交流協会が行う交流研修事業への補助 ・青少年海外派遣研修事業（市内中学2年生を、ホットスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村へ6名ずつ派遣。） ・海外青少年受入交流事業（上記派遣先からの青少年をホームステイで受け入れ。） ・市民等交流事業（国際姉妹友好都市からの市民等を受け入れ。） ・海外来訪者受入事業（国際姉妹友好都市以外からの来訪者を受け入れ。）								
市民参画の有無 【 】								
市民協働の形態		○ 共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛		○ 補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
① 交流都市	箇所	計画			6	6		
		実績			6	6		
②		計画						
		実績						
③		計画						
		実績						
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
① 派遣人員	人	目標			50	50		
		実績			63	31		
② 受入人数	人	目標			50	50		
		実績			50	50		
③		目標						
		実績						
成果指標の達成度		目標値より高い			概ね目標値どおり		○ 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
・平成29年度の派遣事業については、公式行事が無かったことから派遣人数が減少したこのの、国際友好都市4都市への派遣人数を確保し継続を図る。 ・平成29年度の受入については、ホットスプリングス市の市民訪問団が平成30年度のホットスプリングス市との25周年記念行事への参加を見込んでいるため、今年度の市民訪問団については来花を見合わせるものの、ホットスプリングス市からの高校生が昨年度より10名多く来花されたことや、ベルンドルフ市民訪問団の来花により、受入れ人数は横ばいとなった。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	・民間が主体になって実施している事業に対して、市が補助を行うことにより、派遣参加者の負担軽減が図られることから公共関与は妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・市や国際交流協会のHP、広報等様々な手段により事業の周知を図り、また、内容の充実を図って市民の関心を深めていくことが必要である。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・派遣事業では複数業者からの見積り合わせや経費の積算方法を見直ししながら、費用の縮減を図る。
	○ 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・派遣生徒は市内中学2年生全員を対象としており、受益機会は適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
・青少年海外派遣研修事業については、報告会を市内全中学校での開催について、各校との開催方法を協議することにより、より多くの中学生の関心を高めることができると考える。 ・海外青少年等受け入れ事業については、海外青少年との交流を行う受け入れプログラムを増やすなど、国際交流にかかわる青少年の国際相互理解の増加を期待している。 ・ベルンドルフ市への大迫高校の派遣により、大迫高校の魅力づくりに寄与することができる。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	08	124340	国際姉妹都市等交流推進事業【総括表】

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		10,689	6,875		△ 3,814
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他	3,733	2,315		△ 1,418
	一般財源	6,956	4,560		△ 2,396

※特定財源の内訳	

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標				
生涯学習の推進に努めます。				
事業開始の背景・経緯				
異文化の相互理解を深め、国際感覚の醸成を図ることを目的に実施している事業である。				
事業概要				
○公益財団法人花巻国際交流協会補助 6,262千円 公益財団法人花巻国際交流協会が行う交流研修事業への補助 ・青少年海外派遣研修事業（市内中学2年生を、ホットスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村へ6名ずつ派遣。） ・海外青少年受入交流事業（上記派遣先からの青少年をホームステイで受け入れ。） ・市民等交流事業（国際姉妹友好都市からの市民等を受け入れ。） ・海外来訪者受入事業（国際姉妹友好都市以外からの来訪者を受け入れ。）				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				

担当部署 部名 生涯学習部 課名 国際交流室 担当係長 牛崎 充人 内線 407
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◎花巻市の国際姉妹都市等

アメリカ	アメリカ	オーストリア	中国	アメリカ	イギリス
ホットスプリングス市	ラットランド市	ベルンドルフ市	大連市西崗区	クリントン村	シェットランド諸島
姉妹都市提携		友好都市提携		国際友好関係都市	
1993年1月15日 平成5年	1986年1月16日 昭和61年	1965年10月12日 昭和40年	2008年1月23日 平成20年	1979年 昭和54年	1990年 平成元年
旧花巻市	旧石鳥谷町	旧大迫町	花巻市	旧東和町	旧東和町

1 （公財）花巻国際交流協会の姉妹都市等交流事業への補助金

(1) 青少年海外派遣研修 4,960千円

①ホットスプリングス市派遣	1,123千円
②ベルンドルフ市派遣	1,376千円
③ラットランド市派遣	1,317千円
④クリントン村派遣	1,144千円 各地 生徒6人、引率1名（旅費費用の2/3）

(2) 海外青少年・市民等の受入 1,302千円

①青少年受入交流事業	1,047千円 各姉妹・友好都市等中高生
②市民等交流事業	251千円 ホットスプリングス市教員他
③海外来訪者受入事業	4千円

周年事業の予定

	ホットスプリングス市	ラットランド市	ベルンドルフ市	大連市
H29				
H30	25周年			10周年
H31				
H32			55周年	
H33		35周年		

2 ベルンドルフ市への高校生派遣 613千円

高校生2名、引率1名をベルンドルフ市へ派遣

平成 29 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	08	124340	国際姉妹都市等交流推進事業【総括表】

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○花巻市事業として
大迫高校生ベルンドルフ市派遣

市費（費用弁償） 2/3
自己負担 1/3

生徒2名、引率教諭1名
引率教諭は全額市負担

○花巻国際交流協会事業（市補助）として
市内の中学生ベルンドルフ派遣

国際交流協会 2/3 (市全額補助事業)
自己負担 1/3

生徒6名、引率教諭1名
引率教諭は全額市負担

費用弁償 613 千円

生徒 旅費 259,000円 × 2/3 × 生徒1名 = 172,667円

旅費 258,400円 × 2/3 × 生徒1名 = 172,267円

※差額は自宅～新花巻駅間の距離（陸路）の差による

引率者 旅費 268,200円 × 引率教諭1名 = 268,200円

※中学生派遣時に同行することで経費を節減（団体旅行として同額手配）

○平成29年度の事業内容および事業費

〔事業内容〕

平成26～28年度と同様に、国際交流協会生徒派遣事業に同行する。

〔事業費〕

平成28年度 525千円

平成27年度 539千円

平成26年度 476千円

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	17	124650	国内友好都市交流推進事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-3	生涯学習の推進		
	施策	3	国際都市の推進		
目的	友好都市（神奈川県平塚市・青森県十和田市）との都市交流を推進する。				
対象	花巻市民・友好都市市民				
意図	友好都市間の交流を促進する。				
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○友好都市との交流 ・花巻市友好都市交流委員会補助 1,358千円 花巻市友好都市交流委員会が実施する事業に対し補助金を交付する。 少年少女交流キャンプ、市民ツアー、友好都市親子ひらつか探検隊、神輿団体との交流など					
市民参画の有無 【 】					
市民協働の形態		○ 共催 後援・協賛		○ 補助・助成 事業協力・協定	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績) 30年度(計画)
①	友好都市交流事業実施回数	回	計画	20	20
			実績	29	30
②			計画		
			実績		
③			計画		
			実績		
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績) 30年度(計画)
①	友好都市交流事業参加数	人	目標	500	430
			実績	419	349
②			目標		
			実績		
③			目標		
			実績		
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
・前年度に引き続き交流が活発に行われるよう啓発等に努め、交流事業の回数は目標を達成したが、旅行業法の取扱いにより平塚市からの少年少女交流キャンプへの不参加や各市民団体等の参加者数が減少した。今後も事業のPR等に努め参加人数の増加を図る。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市が取り交わした友好都市提携盟約書に基づいて進めている事業であり、公共関与は妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・事業の内容の見直しや、交流を呼びかける周知方法を充実させるなどの余地がある。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・友好都市との交流を広げるための事業費として、これ以上の削減は事業の縮小につながるため削減の余地はない。 ・職員は、企画と実施を行っており外部に委託することのできないため削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある	
	○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・交流事業の参加者は、小学生・市民とも市内全域から募集をしており、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
平塚市と十和田市との様々な交流が各団体において活発に行われたものの、各交流での参加者数が減少となる結果となった。今後も、市民の各層、様々な団体に働き掛けて交流を推進していくことが必要である。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	17	124650	国内友好都市交流推進事業

単位：千円					
		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,583	1,375		△ 208
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,583	1,375		△ 208

※特定財源の内訳

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
生涯学習の推進に努めます。			
事業開始の背景・経緯			
平塚市とは、「平塚休養の郷」の締結を経て、昭和59年に友好都市提携を結んだ。 十和田市とは、新渡戸稲造氏の先祖が花巻から十和田へと移り住み灌漑事業を成功させたこと による縁で平成元年に友好都市提携を結んだ。			
事業概要			
○友好都市との交流 ・花巻市友好都市交流委員会補助 1,358千円 花巻市友好都市交流委員会が実施する事業に対し補助金を交付する。 少年少女交流キャンプ、市民ツアー、友好都市親子ひらつか探検隊、神輿団体との交流 など			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			

担当部署 部名 生涯学習部 課名 国際交流室 担当係長 牛崎 充人 内線 407
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 友好都市からの来客にかかるお土産（報償費） 17千円
・十和田市へのお土産（少年少女交流キャンプ 3、十和田市民花巻探訪ツアー 14）
- 花巻市友好都市交流委員会が実施する事業への補助 1,358千円
 - (1) 交流活動の促進（芸術・文化、スポーツ、祭り、イベント、観光・物産）
 - (2) 少年少女交流事業の実施
 - ①友好都市少年少女交流交流キャンプの実施
 - ②友好都市親子ひらつか探検隊の実施
 - (3) 友好都市の紹介・情報提供事業の実施
 - (4) 市民ツアーの実施（平塚市、十和田市へ）